

### 1. 平成 28 年度/29 年度役員選挙の結果について

平成 28 年 1 月 8 日, 選挙管理委員会を開催し, 次期 (平成 28 / 29 年度) 役員 (全国区選出理事) 選挙の開票を行った結果, 下記の通りとなりましたのでお知らせいたします。

尚, 第 61 回秋期特別総会での一部関係規定改定により, 理事長候補者の選出は, 理事候補者による互選となるため, 選挙は行われません。

次期理事長候補者, 関東支部長候補者については, 決定次第ご報告申し上げます。

選出区分 2 — 全国区選出理事 定員 11 名 (記載は得票順)

1	深山 正久	521 票	当選
2	小田 義直	450 票	当選
3	安井 弥	362 票	当選
4	高橋 雅英	356 票	当選
5	田中 伸哉	329 票	当選
6	落合 淳志	278 票	当選
7	森井 英一	267 票	当選
8	笹野 公伸	263 票	当選
9	鬼島 宏	262 票	当選
10	坂元 亨宇	253 票	当選
11	石川 雄一	249 票	当選

12	伊藤 智雄	244 票	次点
13	野口 雅之	216 票	
14	八尾 隆史	163 票	

学術評議員数: 1,390 名 (平成 27 年 10 月現在)

到着封書数 (投票率) 942 通 (67.7%)

有効封書数 932 通 無効封書数 10 通 (期限切れ)

有効投票総数 4,634 票 (うち白票: 421 票) 無効票 5 票

選挙管理委員会: 森永正二郎 (委員長), 比島 恒和,

亀山 香織, 美島 健二, 二階堂 孝

### 2. 「胃癌・乳癌 HER2 病理 診断ガイドライン 第 1 版」日本病理学会編 出版されました。

先に学会ホームページ (HP) にて公開となりました, 胃癌 HER2 病理診断ガイドライン, 乳癌 HER2 病理診断ガイドラインを 1 冊にまとめた, 「胃癌・乳癌 HER2 病理診断ガイドライン 第 1 版 日本病理学会編」(本体価格 1,800 円) が, 平成 27 年 12 月 25 日付で金原出版株式会

社より出版されました。

会員におかれては HP 版と合わせて是非ご利用下さい。

学会 HP > 病理業務関連情報 >

[http://pathology.or.jp/side/pdf/breastcancerHER2\\_151208.pdf](http://pathology.or.jp/side/pdf/breastcancerHER2_151208.pdf)

### 3. 平成 27 年度一般社団法人日本病理学会秋期特別社員総会 (東京) 開催報告

先の東京総会会期中の平成 27 年 11 月 5 日 (木) 14:00 ~ 15:00, 東京大学安田講堂にて, 標記社員総会が開催されました。

出席数 会場出席者 187 名, 委任状出席者数 2,001 名, 出席者合計 2,188 名

議長 石川雄一 第 61 回秋期特別総会会長

今回はその際の「報告事項」を中心に抜粋してお知らせいたします。尚, 以下の「協議事項」につきましては, すべて承認となり,

会報 334 号 (11 月刊) P2 ~

[http://pathology.or.jp/side/pdf/KAIHO334\\_1120.pdf](http://pathology.or.jp/side/pdf/KAIHO334_1120.pdf)

にご報告いたしておりますので, そちらをご参照下さい。

また, 理事会決定事項については, 次号にてお知らせいたします。

#### 協議事項

- 1) 平成 27 年度事業計画並びに収支予算に関する件
- 2) 第 63 回 (平成 29 年度) 秋期特別総会会長選出の件
- 3) 第 107 回 (平成 30 年度) 総会会長選出の件
- 4) 日本病理学会誌 (学会抄録集) 紙媒体廃止の件
- 5) 役員選挙制度変更にもなう定款施行細則, 支部規程, 役員 (理事, 監事) 規程等改定の件
- 6) 口腔病理専門医制度変更にもなう定款施行細則, 口腔病理専門医制度規程等改定の件

#### 報告事項

- 1) 理事長報告及び医療事故調査制度の件

理事長が標記の件につき以下の報告を行った。

- (1) 現在全国で必要な病理医数を 3,000 名と考えており, この増員を達成するため, 会員各位とともに取り組みたい。そのため, 機動性, 柔軟性に富んだ学会運営を目指し, 今回選挙制度につき一定の改革を提案した。
- (2) その他の重要な課題と取り組みとして以下のこ

とを考えている。

- ① AMED（日本医療開発機構）委託事業：「ゲノム研究のための病理試料の取扱いガイドライン」の策定。
  - ② 新たな専門医制度への速やかで確実な対応：機構専門医への資格更新の開始、新制度下での研修プログラムの提案等
  - ③ H28年度診療報酬改定：病理開業可能な保険診療機関間連携の規制緩和と遠隔病理診断の推進を提言している。本学会の「行動指針2015」も公表中である。
  - ④ 生涯教育の充実：教材の作成やe-learningシステムの構築
  - ⑤ 各種ガイドラインの策定や、がん取扱い規約用語統一への取り組み
  - ⑥ 国際化の推進と若手育成（特に病理解剖教育の充実）
- (3) 10月より新たな医療安全調査制度が開始された。会員各位にはこの制度への協力をお願いする。また「病理解剖の必要性アピール」文を策定、公開した。

## 2) 各種委員長報告

- (1) 企画担当の小田義直常任理事より以下の報告があった。
- ① AMED委託事業「ゲノム研究用試料に関する病理組織検体取扱規程の策定及び病理組織取扱いに関する実証研究」については年度内に規程の策定と公開、またe-learningシステムの構築等を目指している。
  - ② 痛取り扱い規約委員会では、日本癌治療学会痛取り扱い規約ワーキンググループと連携し、各種取り扱い規約の統一を目指した規約案を作成予定である。
  - ③ 診断病理サマーフェストについて
    - i. 本年は9月5日～6日に長田道夫学術評議員を世話人とし、京都大学の協力のもと、「腎生検：患者のためになる病理診断のあり方」をテーマに京都で開催され、大変盛況であった。
    - ii. 平成28年度は鷹橋浩幸学術評議員を世話人とし、「泌尿器病理 とくに腎・膀胱・前立腺」をテーマに慈恵医科大で開催予定である。
    - iii. 今後、当面の間は会場を東京に固定する予定である。
  - ④ 社会への情報発信委員会では若手リクルート用のパンフレット「目指せ病理医！」を作成した。HPにもPDFを掲載しているので活用されたい。
  - ⑤ 病理医・研究医の育成とリクルート委員会について
    - i. 7月に東京ビックサイトで開催された「レジ

ナビフェア」に学会として出展し、多くの学生の来訪を受けた。5年間継続する。

- ⑥ 広報委員会報告では国際化推進のため、HP（ホームページ）の英語ページ充実に取り組んでいる。
  - ⑦ 男女共同参画委員会では「病理医の休職・離職アンケート」を行い、その結果を公表する。
- (2) 学術担当の安井弥常任理事より以下の報告があった。
- ① 学術委員会報告
    - i. 平成29年度宿題報告担当者選考を行い、片岡寛章学術評議員、坂元亨宇理事、横崎宏学術評議員が選出された。
    - ii. 平成27年度診断シリーズ担当者選考を行い山口岳彦学術評議員、横山繁生理事が選出された。
    - iii. 病理学会の国際化推進のための「active promotion」として、学術集会時のトラベルグラントの設置等を検討している。
    - iv. 日本病理学会学術集会開催要領について、運営申し合わせを策定した。
    - v. 学術評議員の任期制と更新制の導入について検討を行っている。
    - vi. 病理診断シリーズ担当者の選考について、自薦も可とする件を検討している。
  - ② 研究推進委員会報告
    - i. 平成28年度病理学会カンファレンスは小田義直世話人のもと、「問葉系組織分子病理の新展開」をテーマに7月29日～30日に六甲山にて開催予定である。
    - ii. 平成29年度の同会は豊國伸哉学術評議員を世話人とし、7月28日～29日に六甲山にて開催予定である。
    - iii. 専門医研修手帳の分子病理に関する項目の改定案を作成している。
  - ③ 編集委員会報告
    - i. 病理コア画像を中心に利用許諾等の対応を行っている。
    - ii. 「診断病理」は電子投稿へ移行し、またオンライン閲覧も可能になった。口腔領域担当も含めて副編集長2名を増員した。
    - iii. NCDを利用した登録、運用への移行準備をしている。
  - ④ 坂元亨宇常任理事より「Pathology International」編集報告があった。
    - i. 12月より投稿料を無料化する。
    - ii. 「ファストトラック」の制度を導入予定である。
- (3) 専門医部会担当の黒田誠副理事長より以下の報告があった。
- ① 日本専門医機構（機構）新専門医制度への移行

と専門医試験について

- i. 機構から各種情報が公表され次第、逐次 HP に掲載していくので確認されたい。
- ii. 研修プログラム申請書類作成については、明日開催の FD（病理専門医指導者研修会）でも機構の担当委員を講師として招いており、説明を行う。
- iii. 新専門医への更新申請が開始された。今後も会員に不利益がないよう、可能な限り配慮する。
- iv. 現在公開の専門医一覧に、指導医資格の有無も表示する。自身の資格を今一度確認されたい。
- v. 今回の学術集会では、2日目の診断シリーズが「領域別講習会」に該当する。必要な方は受講証明書の配付を受けられたい。
- vi. 平成 28 年度の剖検講習会受講を同年の受験申請に使用可とする。

② 医療業務委員会報告

ガイドライン委員会で乳癌 HER2 病理診断ガイドラインを策定した。近日 HP にて公開する。先だてて公開された胃癌 HER2 病理診断ガイドラインとあわせて出版も行う。

③ 支部委員会報告

各支部での夏の学校等が実施され、各支部とも盛況であった。

3) 今後の総会開催予定

- (1) 第 105 回総会 2016 年 5 月 12 日(木)～14 日(土)  
仙台国際センター  
東北大学大学院病理診断学 笹野 公伸
- (2) 第 62 回秋期特別総会  
2016 年 11 月 10 日(木)～11 日(金)  
金沢市文化ホール  
金沢医科大学医学部臨床病理学 野島 孝之
- (3) 第 106 回総会 2017 年 4 月 27 日(木)～29 日(土)  
京王プラザホテル  
国立がん研究センター 落合 淳志
- (4) 第 63 回秋期特別総会  
2017 年 11 月 2 日(木)～3 日(金)  
日本教育会館  
日本医科大学大学院統御機構診断病理学  
内藤 善哉
- (5) 第 107 回総会  
平成 30 年(2018 年) 6 月 21 日(木)～23 日(土)  
ロイトン札幌, ホテルさっぽろ芸文館  
北海道大学大学院分子病理学分野 笠原 正典  
以上

## お知らせ

1. 厚生労働省より周知依頼。

- (1) 院内がん登録の実施に係る指針を定める件（健康局より）

参照 HP:

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/hourei/H151215H0010.pdf>  
がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法律第 111 号）第 44 条第 1 項の規定に基づき、院内がん登録の実施に係る指針を定める件（平成 27 年厚生労働省告示第 470 号）が公布され、平成 28 年 1 月 1 日から適用されます。

本指針は、院内がん登録により得られた情報が、今後、その活用により、がん医療の状況の適確な把握、がん医療の均てん化、がんに係る調査研究の一層の推進及びがん対策の充実等に資することに鑑み、病院で実施される院内がん登録の在り方の方向性を示すものです。

- (2) 調査研究を行う者が講ずる同意代替措置に関する指針を定める件について（同局）

参照 HP:

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/hourei/H151215H0020.pdf>  
がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法律第 111 号）附則第 2 条第 1 項の規定に基づき、調査研究を行う者が講ずる同意代替措置に関する指針を定める件（平成 27 年厚生労働省告示第 471 号）が交付され、平成 28 年 1 月 1 日から適用されます。

2. 医療事故調査制度に関する医療機関職員向けの研修会のお知らせ

対象：医療機関で医療事故調査に関する業務に携わる方又はそのご予定の方

参加費：1,500 円（税込）

日程・場所：全国 7 都市（定員各会場 500 名）

時間（共通）：10:00～17:00（全会場共通）

平成 28 年 2 月 1 日（月）仙台国際センター

2 月 5 日（金）福岡コンベンションセンター

2 月 8 日（月）ロイトン札幌

2 月 29 日（月）

大阪国際会議場グランキューブ大阪

3 月 4 日（金）ホテルメルパルク名古屋

3 月 10 日（木）日本医師会館（東京）

3 月 14 日（月）岡山国際ホテル

参加申し込み・詳細：日本医師会ホームページ参照

[http://www.med.or.jp/doctor/anzen\\_siin/anzensonota/004132.html](http://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/anzensonota/004132.html)

※すでに申し込み受付終了しているものもございます。

お早めにご確認下さい。

### 3. 平成 27 年度文部科学省新学術領域研究

「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」公開シンポジウム

開催日：2016 年 2 月 8 日（月）～9 日（火）

場 所：一橋講堂学術総合センター 2F

申し込み・詳細：

<http://ganshien.umin.jp/seminar/symposium/20160208/index.html>